

持続可能な社会を目指して、
環境保全・社会貢献・ガバナンスを
意識した事業活動を推進

因幡電機産業

因幡電機産業は、E（環境）S（社会）G（ガバナンス）の重要性を認識し、仕入先様とお客様をつなぎ、電設資材、産業機器等の流通を通じて、豊かで快適な社会づくりに貢献する企業として、事業活動を推進してまいります。



▲ サステナビリティ
詳しくはこちら

JAPPYは、持続可能な
開発目標（SDGs）の達成に向け、
事業活動を推進します。

因幡電機産業のプライベートブランドである「JAPPY」は、「JAPPY」と「HAPPY」という2つのキーワードに由来しています。

「私たちは、日本全国（JAPAN）

のお客様に付加価値が高い優れた製品をお届けすることによって、お客様が幸せ（HAPPY）で豊かな生活をおくるためのお手伝いをしたい」という想いと信念がこめられています。

「ロゴマーク使用マニュアル」

（2019年4月1日制定）より抜粋

リサイクル資源を活用した
JAPPYブランド製品

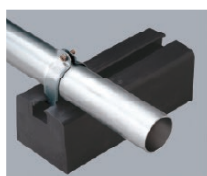
地産地消型のリサイクル資材を使った「多目的支持台リサイクルロックシリーズ」

認定リサイクル製品平成21年度山口県認定
リサイクル製品（認定番号274）

多目的支持台リサイクルロックシリーズは、外装にはリサイクル樹脂（PP、PE）、内装にはエココンクリート（製鋼スラグ・高炉スラグ等をリサイクル使用）、底面にはリサイクルゴムを使用した材料全てが環境保全型の製品です。製鋼スラグ・高炉スラグは、鉄鋼製造工程において副産物として発生するもので鉄以外の残渣成分や灰が溶融し



▲ JAPPY
リサイクルロック
シリーズの
動画はこちら



製造拠点のある山口県にて認定リサイクル製品登録（プラスチック・ゴム製品分野・認定番号274）を受けています。

新春対談

因幡電機産業株式会社 守谷承弘相談役 × 西川雅夫理事長

内閣府認証NPO法人JMCA



西川 新年明けましておめでとうございます。貴社の主力事業は何ですか。
守谷 大きく分けて商社部門とメーカー部門があり、このうち商社部門は電設資材と産業機器の2つの事業で構成しています。電設資材事業は、東芝さんのエレベーターも大手ゼネコンに直接販売しています。ただ、エレベーター事業は事故が起こると危険なため、メンテナンス作業はメーカーに依頼しています。さらにヤンマーさんの非常用発電設備などの販売も行っています。

産業機器事業は、工場の設備で使う制御機器や電子部品を卸業者などに販売しています。例えば、工場のラインを新設する時はセンサーなど全てをセットして納めるなど、提案型の営業を行っています。

メーカー部門の自社製品事業では、主力の「因幡電工」ブランドにおいて、エアコンの室内機と室外機をつなぐ冷媒管や、それを保護しながら施工の美観を保つ化粧カバー「スリムダクト」シリーズなどの空調関連部材を製造・販売しており、業界トップシェアを誇っています。

西川 非常に多岐にわたり販売されていますね。

守谷 それと、当社では私が社長を務めていた2013年に買収した子会社、株式会社パトライトがあります。「パトライト」とは、元々はパトカーや救急車、消防車など緊急車両に装備されている回転灯・警光灯の商品名で、1947年に大阪市阿倍野区で創業したササ電機研究所、のちの佐々木電機製作所がこれを製造・販売していました。1994年に会社名をパトライトに変更し、今に至っています。パトライトがヒットした背景のひとつに、石原裕次郎さんなどが出演して

いたドラマ・西部警察があります。当時高視聴率を記録したこのドラマに登場するパトカーでパトライトの商品を使っていたことが反響を呼び、爆発的に売れました。警察庁の窓口が一本化されていたことも営業面で奏功しました。

西川 すごいヒットしましたね。

守谷 あの頃のパトカーは日産自動車のセドリックが多かったです。今は、ほとんどがトヨタ自動車であり、その関連会社・小糸製作所も車両向けの回転灯・警光灯を製造・販売しています。パトライト全体の売上のうち、今や車両向けが占める割合は20%程度となり、工場などで使用される積層信号灯「シグナル・タワー」が売上の柱となっていますが、ロングラン商品である車両向けのパトライトは現在でも高いシェアを維持しています。

西川 買収するタイミングが良かったですね。本日に幅広く事業展開されていますね。

守谷 当初、東エリアは営業面ではサッパリでしたが、きんでんさんや関電工さんなど大手の電設工事を会社を網羅し、それと卸業者に継続的に営業していたことが非常に大きかったです。

西川 本日は有難うございました。

（取材・文／岡田哲弥）

因幡電機産業株式会社

相談役 守谷 承弘氏

1951年愛媛県生まれ。1974年大東文化大学経済学部卒業。1974年4月に因幡電機産業へ入社し、西日本支社拠点営業部名古屋営業所所長を経て、さまざまな部長職を歴任。2004年代表取締役社長に就任し、社長就任時に各事業部の協調性を重視し、分社時代から続く各事業部の関係性を「協調しながら競争させる」という意識改革に取り組み、企業全体がまとまり、飛躍的な成長を遂げた。2019年は代表取締役会長に就任。2025年相談役に就任。



内閣府認証NPO法人 ジャパン メディカル ケア アソシエーション

理事長 西川 雅夫

（セキセイ株式会社 代表取締役）
1948年大阪府生まれ。1971年甲南大学卒業後、現リコージャパンに入社。1972年セキセイ入社後、副社長を経て、1985年代表取締役社長に就任。2013年代表取締役会長就任。2020年JMCA理事長に就任、ODC大阪デザインセンター理事、DAS総合デザイナー協会デザイナー会員、大阪商工会議所生活用品部会副会長、2009年春 黄綬褒章受章。

2022年秋 旭日双光章 叙勲受章

